

まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.30

平成17年度予算

ちよまつ ひろやす
 泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (31歳)



平成17年度 一般会計予算

泉佐野市では3月4日から3月定例会市議会が開会いたしました。毎年この3月議会では、次年度の予算案が審議されます。当初に出された平成17年度の一般会計予算は前年度に比べて1.6%増（6月補正後）の414億5,600万円でありました。しかしこの額から公債の借り換え【注1】や前年度繰上充用金【注2】を除いた実質的な金額は335億5,663万円となつて、市単独事業【注3】を大きく減少する前年度比43%減の緊縮予算となっております。平成17年度の一般会計予算の特徴としては、歳入面では、税収は前年度規模を維持するとともに、歳出面で財政健全化計画の効果が出始め、当初、財源調整のため8億円の基金からの借り入れ【注4】を予定していたものが、3億8,200万円まで圧縮されま

平成17年度目的別歳出予算表

科目	予算額	前年度比
議会費	3億 1,497万円	△3.6%
総務費	33億 1,926万円	△0.9%
民生費	113億 1,439万円	△0.9%
衛生費	38億 7,194万円	6.8%
労働費	3,145万円	0.6%
農林水産費	2億 297万円	△10.6%
商工費	1億 1,486万円	△8.9%
土木費	42億 2,425万円	△26.7%
消防費	13億 4,437万円	4.6%
教育費	27億 9,229万円	△3.2%
災害復旧費	410万円	皆増
公債費	109億 6,353万円	33.5%
諸支出金	5,325万円	-
前年度繰上充用金	29億円	△17.1%
予備費	500万円	-
合計	414億 5,663万円	1.6%

泉佐野市では3月4日から3月定例会市議会が開会いたしました。毎年この3月議会では、次年度の予算案が審議されます。当初に出された平成17年度の一般会計予算は前年度に比べて1.6%増（6月補正後）の414億5,600万円でありました。しかしこの額から公債の借り換え【注1】や前年度繰上充用金【注2】を除いた実質的な金額は335億5,663万円となつて、市単独事業【注3】を大きく減少する前年度比43%減の緊縮予算となっております。平成17年度の一般会計予算の特徴としては、歳入面では、税収は前年度規模を維持するとともに、歳出面で財政健全化計画の効果が出始め、当初、財源調整のため8億円の基金からの借り入れ【注4】を予定していたものが、3億8,200万円まで圧縮されま

した。
 昨年修正を加えた財政健全化計画によって、各種使用料の改定や個人給付事業の廃止、団体補助のみなし、市単独事業の休・廃止が行われました。財政健全化の効果が出始め、当初予算としては市民のみなさまにとつては依然厳しい状況であります。泉佐野市の財政健全化は一步、着実に良い方向に向かっていきます。しかし三位一体改革や税収の動向など不確定要素が多いので平成18年度（平成19年3月まで）の計画終了までは、引き続き財政健全化への取り組みが行われます。しかし不確定な要素が多いとはいえ、健全化計画に盛り込まれた項目以外でさらなる市民の方々への負担を伴うことを行政が実施しようとするのなら、それに対しては私自身厳しい姿勢で臨んでいこうと考えています。市民のみなさまにおかれましては、よろしくご理解のほどを賜りたくお願い申し上げます。

【注1】公債の借り換え・・・地方自治体の借金である公債は、金利の変動があるため一定の期限を設けて借り換えができるルールがある。平成17年度は約50億円の借り換え。泉の森ホールの借り換えがあるので額が大きく膨らんだ。
 【注2】前年度繰上充用金・・・累積赤字額。平成17年度は29億円。
 【注3】市単独事業・・・国や府の補助を受けないで泉佐野市独自で行う事業。平成16年度は13億3,000万円、平成17年度は9億3,200万円の約30%減。
 【注4】基金からの借り入れ・・・泉佐野市の特定目的のために積み立てている基金から一時的にお金を借り入れること。平成17年度は福祉基金と公園等整備基金から借り入れる。財政調整基金や減債基金のように流動性の強い基金は市長の権限によって取り崩すことができたが、特定目的基金は取り崩すことが出来ないので借り入れることができるという条例（泉佐野市基金条例）を平成13年に制定した。財政健全化計画では平成17年度は8億円借り入れる予定であった。

平成17年度

予算特別委員会

3月10日(木)、11日(金)、14日(月)、15日(火)の4日間に平成17年度泉佐野市の各会計予算を審査するために、予算特別委員会が開催されました。予算特別委員会の審議のあと平成17年度泉佐野市各会計予算案は29日(火)の本会議において可決されました。私は、予算委員として4日間の審査に対してさまざまな角度からの質問をしました。主な質問とそれに対する答弁は次のとおりであります。

予算の概要

千代松・・・昨年は三位一体改革によって泉佐野市の予算編成においても大きな影響を受けた。昨年の年末に改革の全体像が示されたわけだが、今年度の予算案に対しても所得譲与税の1億9,000万円が増加といったように具体的な数字が上がってきている。今年の三位一体改革の影響というものは？

答 弁・・・平成17年度の三位一体改革は、義務教育の関係や国保の関係など都道府県に対して大きく影響を及ぼすものが、大半である。市町村に対しての影響というものについては、所得譲与税の伸びと削減される国庫補助金の差というところだが、平成16年度は2億5,000万円のマイナスだったが、17年度だけを見れば大きな影響は出ていない。

民生費

千代松・・・泉佐野市は2年前の平成15年の4月から責任の所在を明確化するために留守家庭児童会の臨時職員的身分を非常勤職員とした。その後留守家庭児童会に対してのニーズは高まり、平成17年度の申し込みは大幅に増えている。財政難の中にあってもこういったことには対応してほしい。

答 弁・・・留守家庭児童会へのニーズは昨年から急激に高まった。平成16年度末で587名の対象者がいるが、平成17年度の申し込み時点では、さらに136名増えている。児童が増えているので施設がかなり狭くなっているといった問題もある。今後はこのような問題への対策を検討していかなければならない。

労働費

千代松・・・大阪府の補助事業である地域就労支援事業は、講座を開いての就労支援をするだけではなしに、もっと就労に結びついた実績というものに重きをおき、職業紹介等を進めていくべきではないか？

答 弁・・・地域就労支援事業は相談業務だけではなしにパソコン講座やホームヘルパー養成講座を開催している。就労の実績は、平成15年度28名、平成16年度は昨年末までに16名が就労に結びついている。職業紹介は今後の大きな課題と考えている。

教育費

千代松・・・現在中学校で行われているスクールランチ事業は、利用する生徒が少ないが、私自身の考えとしては、中学校でも完全給食を実施してほしい。現在の財政状況ではすぐには無理かもしれないが、今後検討してほしい。

答 弁・・・泉佐野市の給食センターでは現在約7,500食の給食が作られているが、中学校給食を完全実施するとすると、現在の給食センターで可能かという問題がある。また調理後2時間以内に子ども

たちが食べられるようにしなければならぬといった時間的な制約もある。完全給食は望ましいと考えるが、以上のような観点から施設の大規模増築が必要となってくるので現在の状況では厳しい。

公債費

千代松・・・平成17年度では市債の大きな借り換えがある。昨年の3月議会で質問したが、市債の借り換えに際しては、指定金融機関にこだわらずに入札方式を導入して少しでも利率の低いところで借り入れをするべきではないかと提案したが、その後どのようにになっているのか？

答 弁・・・平成16年5月末の借り入れの段階から入札方式を採用した。利率についても低い利率で借り入れすることができた。指定金融機関以外には農協や泉佐野市内に支店を持つ金融機関全てに参加してもらった。

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA 取得
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了
- 2005.3 和歌山大学大学院在修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選

〔現在〕

- (社) 泉佐野青年会議所理事
- (NPO 法人) 大阪夢づくり協議会理事
- 泉佐野市バレーボール連盟会長
- 同大アメフト部 OB 会常任理事
- 自由民主党泉佐野支部政務調査会長
- 自由民主党第19選挙区支部青年部長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
TEL 58-1708
FAX 69-0311

ホームページ http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/
メール chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 382,500部 2005.4第30号

* 「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。